

2024-2025年度国際ロータリーのテーマ



2024-2025年度国際ロータリー第2690地区のスローガン

未来への架け橋をつくらう

2024-2025年度岡山北ロータリークラブのスローガン

仲間との経験を増やそう

2024~2025年度 Rotary Club of Okayama North

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

理事・役員

2024.7~2025.6

会長(理事)	高橋茂樹	樹行郎子
副会長(理事)	橋本太郎	則人那
幹事(理事)	牧本太	
副幹事	堀安吉	
会計	原田波	
S.A.A.(理事)	吉難	
副S.A.A.		

会員増強・退会防止(理事)	中宮賢太郎
広報(理事)	山井宏
奉仕プロジェクト(理事)	永馬雅幸
ロータリー財団(理事)	馬場保宏
親睦活動プログラム	正廣野本
直前会長	高岸景達
次期会長	高島浩

モバイルサイトへのアクセスはQRコードをご利用ください。(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「旧ひな壇慰労&新入会員歓迎夜間例会」

次回7月9日のプログラム

「就任挨拶」

会長 高橋茂樹 会員
幹事 牧本太郎 会員

7月のお祝い行事

会員誕生日：高島、渡辺君
結婚記念日：牧本、松田、妹尾、正保、武南君

前回6月25日の例会記録

出席の状況

会員数 51名(出席免除者0名)
出席者数 39名
欠席者数 12名
出席率 76.47%
6月ホームクラブ平均出席率 69.28%

ゲスト

玉野RC 小林弘幸様



ゲストの小林様と

スケジュール

7月 母子の健康月間

9日(火) 12:30~例会：就任挨拶①
16日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
23日(火) 12:30~例会：就任挨拶②
29日(月) 18:30~例会：岡山北RC・岡山北西RC合同夜間例会
30日(火) 例会変更→29日(月)

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

6日(火) 18:00~第2回理事役員会
19:00~例会：会場移動納涼ビア夜間例会(高田屋)
13日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
20日(火) 12:30~例会
27日(火) 12:30~例会：ガバナー補佐訪問クラブ協議会

会長挨拶



玉野RC小林会長、ようこそお越し頂きました。ゆっくり当例会を楽しんでください。
先週末、4日間のアウトドア同好会の沖縄ツアーより戻ってまいりました。特に大きなトラブルもなく、総勢10名、梅雨が明けたばかりの晴天の沖縄の地ですっかりダイビング三昧となりました。おかげさまで、私も多少日焼けをし、社内では、どこに出張したか説明しづらい状況ですが、会長としての、最後の行事としては、最高のご褒美をいただいたかなと思います。
私の留守中に、こちらは梅雨入りしたらしく、うとうしい日々が続きます。予報によれば、梅雨入りが遅くなった分、1回の雨量が増えるだろうということなので、歩かれる方も、運転される方も、事故のないように気を付けていただきたいと思います。

今年度の例会も本日で終了となります。いろんな目的で、例会数を減らして一年間を送らせていただきました。グランヴィアの皆様にも、様々なご無理をお願いして参りました。事務局にも例会について、いろいろと注文して参りました。今年度の例会、少しでも楽しんでいただけたなら幸いです。

後ほど会長として最後のご挨拶と一年間の総括をさせていただきます。

幹事報告

1. 本日18:30より高田屋 岡山駅前店において「パスト会長・幹事会」が開催されますので、パスト会長・幹事の皆様はよろしくお願いたします。
2. 7月の出席確認表を回覧いたしますので、よろしくお願いたします。
3. 7月2日の旧ひな壇慰労夜間例会の出欠表を回覧いたしますのでよろしくお願いたします。
4. ロータリーの友6月号を配付いたします。
5. 岡山東RC創立55周年記念冊子、財団室NEWS6月号、他クラブ月報・週報を回覧いたします。



幹事報告

S. A. A.

玉野RC 小林様：岸本会長 1年間お疲れ様でした。

岸本君：小林会長 お越し頂きありがとうございます。本日最終例会となります。1年間ありがとうございました。沖縄よりアウトドア同好会10名 無事戻りました。

高橋君：玉野RC 小林会長 ようこそ！今週で終わりですね、おつかれ様でした。本日、最終例会宜しくお願いたします。

永山君：玉野ロータリー小林会長 本日はご来訪ありがとうございます。1年間なんとか幹事業を全うすることができました。会員の皆様、事務局の中山さん、長田さん、本当にありがとうございました。

磯島(慈)君：来週から司会の声は麗しい声にかかります。一年間ありがとうございます。

伊藤君：ひな壇の皆様 一年間ごろうさまでした。岸本会長、永山幹事、高橋副会長、磯島(慈)副幹事、上野山S.A.A、妹尾副S.A.A.

杉本君：一年間お世話になりました。

橋田君：岸本会長 永山幹事はじめひな壇の皆様、おつかれさまでした。

高島君：沖縄ダイビング楽しかったです。ご一緒の皆様有難うございました。岸本会長・永山幹事はじめ 理事・役員の皆様 一年間お世話になり有難うございました。

馬場君：岸本会長はじめひな壇の皆様、1年間お疲れ様でした。会員の皆様、親睦活動にご協力いただき、ありがとうございます。

廣野君：岸本会長、永山幹事はじめとするひな壇の皆様 一年お世話になりました。

山本(和)君：岸本会長、永山幹事はじめひな壇の皆様 1年間ご苦勞様でした。

中山君：岸本会長、永山幹事 1年間本当にお疲れ様でした。お世話になりました。ありがとうございます。アウトドア同好会で一緒させていただいた皆様、楽しい4日間ありがとうございました。

三宅君：岸本会長、一年間お疲れ様でございました。安原さんはじめアウトドア同好会の皆様 お帰りなさい。親睦家族旅行 お世話になりました。馬場さんありがとうございます。

牧本君：ひな壇の皆様、一年間おつかれ様でした。ありがとうございます。本日、19時より駅前高田屋にてパスト会長幹事会を行います。参加の皆様、よろしくお願いたします。

戸川君：小林会長、お越しいただきありがとうございます。ひな壇の皆様 一年間、本当にお疲れさまでした。

杉山君：一年間、出席委員長をさせていただきました。大変勉強になり、させていただいたことに感謝しております。ありがとうございます。

堀川君：ひな壇の皆様、会員の皆様、今年も大変お世話になりました。来年も宜しくお願いたします。

磯島(理)君：色々と皆さまにお世話になりありがとうございます。

渡辺君：ことし一年、お世話になったすべての会員の皆様へ感謝をこめて。

平野君：今年度も本日で終わりですね！色々とお世話になりました。次年度もよろしくお願いたします。

妹尾君：本日も多くのスマイルありがとうございます。一年間お世話になりました。

上野山君：本日は遅れてすみませんでした。今年度、お世話になりました。



出席報告



スマイル報告



一年間ありがとうございました。ひな壇、理事役員の皆様を始め、クラブ会員の皆様のおかげで、この日を迎えられましたことに感謝申し上げます。

本来なら、私はもう一年早く会長に就く予定でした。ところが、仕事の都合で突然一年先延ばしにして頂き、廣野直前会長には大変ご迷惑をおかけいたしました。ただ、このような大役を受けたことがなく、自信がなかったことも事実で、この時はほっとしたことを覚えています。

そして一年後、腹をくくって、自分なりにできること、考えられることを精一杯やってみてまいりました。人前で話すことが、大の苦手だったのですが、この一年で、少しは話せるようになった気がします。この一年で、白髪は増えましたが、体重は計画通りとはいきませんでした。あいさつで嘔む回数は減りましたが、多くの知り合いはできました。

それでは、一年間の総括をさせて頂きたいと思います。

創立55周年

今年度行われました、55周年記念行事には皆様のおかげで、当クラブの存在感を高められたのではないかと思います。16RC会長会のグループラインでもすべての会長からねぎらいの言葉だけではなく、式典、記念事業に対して高い評価を頂きました。これは、米林実行委員長、廣野、上野山副実行委員長を初めとする最強の実行委員会の皆様のおかげだと思いますし、「よきことをせむ」思いが伝わったのではないかと思います。

例会

今年度は、出席率を向上しようと杉本プログラム委員長に無理を申し上げて外部卓話を増やし、魅力的な例会にすべく努力してみました。力不足でした。いくら魅力的な例会にしてもその内容が事前に会員に伝わらなければ、出席者は増えないことに早く気付くべきでした。このような状況で、次年度にバトンを渡すのは大変心苦しいです。今後も、ぜひ皆さんお誘い合わせて、例会に出席をお願いします。

そして、普通にできて当たり前前の例会をひな壇、事務局の努力のおかげでスムーズに運営できたことは、大変感謝いたしたいと思います。

事業

55周年記念事業を含めると、今年度は様々な事業を行いました。各担当委員長の皆様、ありがとうございました。継続事業もあれば、新規事業もありましたが、特に、新天地育児院での奉仕活動はゼロからの立ち上げということで、奉仕プロジェクトの皆様お世話になりました。岡山北RCとして、誇ることでできる事業の一つだったと思います。

16RC会長会

今年度、16RCの会長の皆様には知り合いがけっこう多かったです。おかげで、地区の行事が行われるたびに、皆さんにお声がけして、会長同士が集まり、意見交換などをしていました。そのうち、16RC会長会のグループラインができ、何度か会長だけで集まったり、周年の後の二次会を16RCで行ったりしながら、懇親を深めてまいりました。聞くところによると、16RCの幹事会はあるが、会長同士が集まることはあまりないとのこと、非常に良かったと思います。

6RC会長会

昨年度事務局が移転し、事務局員の移動もあり、事務局に関係する作業がけっこう増えたため、例年以上に6RC幹事会が活発に会議を重ねており、そこに我々会長が引きずり込まれ、非公式ですが、6RC会長会もできました。こちらでも、協議のため頻繁に開催されるうちに、幹事会同様、会長同士も非常にいい関係となりました。

特に、北西RCの相原会長とは、ことあるごとに意見をすり合わせ、親子として最高の関係を築けたと思います。

会員拡大

拡大を目標にしていたのですが、皆様のおかげで純増2名となりました。55名で55周年をと、そっと心に誓っていたのですが、それでも仲間が増えたことはとても良かったと思います。来年度早々、もう一名増える予定ですので、今後も会員増強に協力して参ります。

そのためにも、岡山北RCの名を知ってもらうことは大切で、社会にもっと存在感をアピールし、会員の皆さんが誇りに思えるクラブにする必要があると感じました。そこは、今年度、十分にできたとは言えませんが、今後も意識をして行動したいと思います。

本年度会長をさせて頂いたことが、私の人生でどう影響したか、どう変わっていくのかまだわかりませんが、こんな私でも会長がなんとか務まりました。これからの皆様にも、強く熱い思いをもって、チャレンジしていただきたいと思います。

みなさま、一年間支えて頂き、ありがとうございました。

「一年を振り返って」

幹事 永山 雅己 会員



入会して10年目、コロナが5類になったとはいえ、全く飲食業は数字が戻らず不安の中、幹事という大役を仰せつかりました。まだ幹事経験のない方のために説明しますと、北ロータリーの幹事になると、6ロータリー幹事会、県南16ロータリー幹事会が月に1回ずつ開催されます。他のクラブの報告を聞いて、色々な奉仕事業をしていることを初めて知りました。全く今まで気にしてなかったんだなあと反省です。また、本年度は特に6RC事務局さんの就業規則や給与規定の精査や、6RC合同特別例会、合同懇親会を前年度からの引き継ぎ事項として初めてすることになり、産みの苦しみというか、6クラブで1つの事を成し遂げる大変さを経験させていただきました。さらに、16年に1度しか回ってこない新旧プログラム委員長会議、現次期県南16ロータリー幹事会をホストクラブとしてやらせてもらったのもいい思い出です。

また、55周年の節目の年、米林実行委員長、廣野、上野山両副実行委員長、会員の皆様のおかげで、式典、講演会、懇親会、記念事業等、他クラブからお褒めの言葉をいただく事が多くありました。北ロータリーの存在感を見せられたと思います。今年県南16RCでは、岡山の90周年、東と西南が同じ55周年、後樂園35周年、岡南30周年ということで各クラブの式典に参加させていただきました事も素晴らしい経験をさせていただきました。

諸先輩の皆さまや、後輩の方には、立場上失礼な発言や厳しい意見を言ったと思います。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

結びになりますが、会員の皆様、事務局の中山さん、長田さん、グランヴィアの担当の皆さん、会長始めひな壇の皆さん、特に磯島副幹事に御礼を申し上げて退任挨拶といたします。1年間ありがとうございました。

「一年を振り返って」

55周年実行委員 委員長 米林 真 会員



55周年の年でした

2023-24年度に我ら岡山北ロータリークラブは創立55周年を迎え、これを記念しての事業、式典及び懇親会を開催しました。5年毎の周年行事は知る限り全てのロータリークラブで行われていますが、内輪の祝賀行事なので各クラブの歴史やロータリー感を反映した様々の形式、内容がとられ、優劣というものはありません。

とはいえ行政や地区、他クラブからも来賓をお招きするのですから、この機会に自クラブの存在感を内外に示したいという意識は各クラブともあろうかと思えます。その意味で岡山北ロータリークラブの55周年行事はよそ目に見ても恥ずかしくない内容だったと自負しています。

詳細については発行された記念写真集等を参照頂くとして、ここで強調したいのは実行委員会で当初から計画された事業の全てが私の予想を超えてウエルメード（上出来）に実現できたことです。その最大の要因は岸本会長を始めとする委員会メンバーが全員、それぞれの役割において持ち前の力を遺憾なく発揮されたことにあります。いちいちお名前を挙げてご活躍ぶりを顕彰することは割愛いたしますが、岡山北ロータリークラブメンバー各位の能力の高さを改めて実感し、感服申し上げたことをここに記したいと思えます。

委員会・活動報告



雑誌委員会 委員長 戸川 茂宣 会員

「ロータリーの友6月号」の紹介
パキスタンでのEND POLIO NOWの特集記事の紹介をされました。



直前会長 廣野 景治 会員

新天地育児院評議員を務める廣野直前会長から、4月27日に開催された岡山北ロータリークラブの社会奉仕合同事業について、評議員会や職員の方からの感謝の言葉をいただいたとの報告がありました。

また、新しく新天地育児院の職員となられた方のスピーチを朗読され、職員の方々の思いを知ることができました。

職員会議において「新任職員着任1か月の振り返り」のスピーチをしていただきました。10数年保育園と幼稚園に勤めた経歴をお持ちの方です。彼女のスピーチの一部を抜粋してご紹介します。

「周りには、児童養護施設ってどんなところかと、心配する声も少しありました。実際に来てみて思ったのは、職員の皆さんの意識の高さです。子どものことを第一に考え、みんなが同じ方向を向いていることの居心地の良さでした。

教育ということ以前の深いところの魂の再生ともいうか、今まで取り組んだことのない問題に臨んでいるような感覚でいます。ここは設備も整っています。自然も豊かで、体育館には様々なスポーツ用品が備えられ、図書館もあって、教育的な環境は十分に整っています。でも、どんなに整っていても、やっぱり家が良くて、それがどんな環境であっても家族と一緒にいたくて、日々苦しんでいる子どもの姿を目の当たりにしました。何かあるたびに、子どもたちの心に空いた、埋めることのできない大きな穴を思います。今の私は、まだ、子どもたちに、その穴を見て良いよという許可を貰えていない所に立っています。でも少しずつ、近づいていって、同じ思いの方々と、その穴を少しでも小さくするお手伝いをしたいです。その働きに関わらせてもらえることは、神様からの素晴らしい贈り物と感じて、日々を過ごしています。」



米山記念奨学委員会 委員 渡辺 怜 会員

米山記念奨学委員会の渡辺です。

さる、6月22日の日曜日に、岡山駅西口のほうにあります「岡山国際交流センター」というところの会議室で、「2024-25年度国際ロータリー第2690地区米山記念奨学委員会」が開催され、出席してまいりました。

米山記念奨学委員会では、今年を「2024学年度」と呼んでいますが、大学などの学期にあわせた4月はじまりで活動しておりまして、6月までは石倉地区ガバナーの年度になるんですが、いよいよ7月から「2024-25年度 榊原地区ガバナー」の年度に変わり、今年は何6回行事が開催されるうちの最初の

委員会ということで、私自身は委員のほとんどの皆さんと初めてお会いする機会となりました。

委員会メンバーは、奨学会理事をされている菊池理事と榊原地区ガバナー、坂口地区ガバナーエレクト、西川地区代表幹事をはじめ、当地区の米山記念奨学委員長、副委員長と私を含め委員が6名と、総勢12名で構成されていまして、少数ながら錚々たる顔ぶれで緊張致しました。

このたびの委員会は、「指定校選定委員会」と「地区奨学委員会」という、大きく2つ議題がありまして、まず、「指定校選定委員会」では、奨学生としての有資格者数、地区の寄付額及び1人当たり平均寄付額、地区割当数、継続奨学生数などから計算しまして、当地区（第2690地区）では来年度（2025学年度）の新規採用数が17.5人となると説明がありました。0.5人というのは年間の人数ですから、1人の半年分ということですから。ちなみに、「有資格者」の資格要件とは、例えば国費で留学している人などは奨学金を受ける資格対象になりません。また、今年から岡山北RCでお世話しております「ぶんくん」につきましては、来年も継続奨学生となりますので、この17.5人のなかには含まれておりません。

そして、当地区内の大学、専門学校生の全留学生数に対して「有資格者数」がどれだけ在籍するかで、（例えば、留学生のいない大学は当然指定校から外れますから）指定校の範囲は概ねそれで決まってくるのですが、推薦枠をどうとるかが問題となります。推薦枠の考え方としては、「事務的な負担はあるけれども、なるべく広く募集をかけていきたい」という方向で議論がされたところでした。

また、指定校に提示する「学内選考の目安」という募集文言の書き方についても難しい議論になりました。全国で地区が34地区あるなか、昨年の例を説明いただきましたが、各地区すべて書き方やレベルが違うんですね。この場で詳細をお伝えする時間がないのですが、特に「国籍が1か国に偏らないよう」という記述をする地区は増えていまして、第2690地区にも同じ記載があるんですが「50%を超えない」など数値で基準を盛り込む地区も多いです。これは明らかに近年、中国からの留学生あるいは応募が増えていて、1国に集中する傾向が強くなっていることを示していまして、中国が悪いというわけではないと思うのですが、中国からの留学生はみんな優秀なだけけれども、日本よりGDPの高いような裕福な国に偏るのではなく、広く国籍の多様性を認めながら支援を広げていきたいという意見で一致しております。

あと、「地区奨学委員会」で議論されたのが寄付です。

昨年の委員会で、既に「普通寄付金額5,000円/人」「特別寄付金額10,000円/人」という目標が示されておりまして、皆様方には、これ以上の金額で、ご支援をお願いしていくことになろうかと思っております。よろしくお願いたします。

ちなみに、第2690地区の現状をご説明いたしますと、

・会員数：2,924人 これは、全国34地区中9位です。

・1人当たり平均寄付額：12,906円 これは、全国34地区中19位です。

17位が平均ですからそれより下回るということになります。

・寄付総額：約37,000万円（37,738,770円）これは、全国34地区中15位で、会員数が多いですから何とか平均を上回っています。

第2690地区で、

・1人当たり平均寄付額15,000円以上 21クラブ

・1人当たり平均寄付額10,000円未満 20クラブ

・1人当たり平均寄付額5,000円未満 8クラブ

となっておりまして、岡山北ロータリークラブが15,000円/人以上の21クラブに入っているか定かではなかったですが、第2690地区は全国的に見ても、決して高いレベルではないということをご了解いただきたいと思っております。

以上で、報告を終わります。

以上